

水産分野における 男女共同参画実態調査 報告書

第三回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査より
水産関連分野のデータ集計と
大規模アンケートとの対比による分析解析報告書



2015年3月

公益社団法人日本水産学会
男女共同参画推進委員会

国立大学法人東京海洋大学
男女共同参画推進室女性研究者支援機構(海なみ)

本報告書は、平成 24 年 11-12 月に実施された『第三回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査』の中より水産学会会員回答分についてデータを抽出し、男女共同参画学協会連絡会の許可を得て、日本水産学会男女共同参画推進委員会にて解析を行った成果である。本報告書の著作権は日本水産学会及び男女共同参画学協会連絡会に帰属しており、本報告書の全部または一部の無断複製などの行為は法律で認められる場合を除き、著作権の侵害に当たる。引用の際には、必ず、その旨を明記すること。

なお、本報告書の本文中、比較のため、全体解析の結果グラフと水産学会分解析グラフを全て併記している。これらは、『第三回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査』解析報告書 男女共同参画学協会連絡会(平成 25 年 8 月)より引用した。

アンケートデータの見方について

◇このアンケートは、大規模アンケートと水産学会員データ集計の対比による比較分析を行いまとめたものである。

各設問、全データについて、以下のように集計表・データを併記している。
水産学会データには、枠を付け、表下に（水産学会）と明記している。

<例>

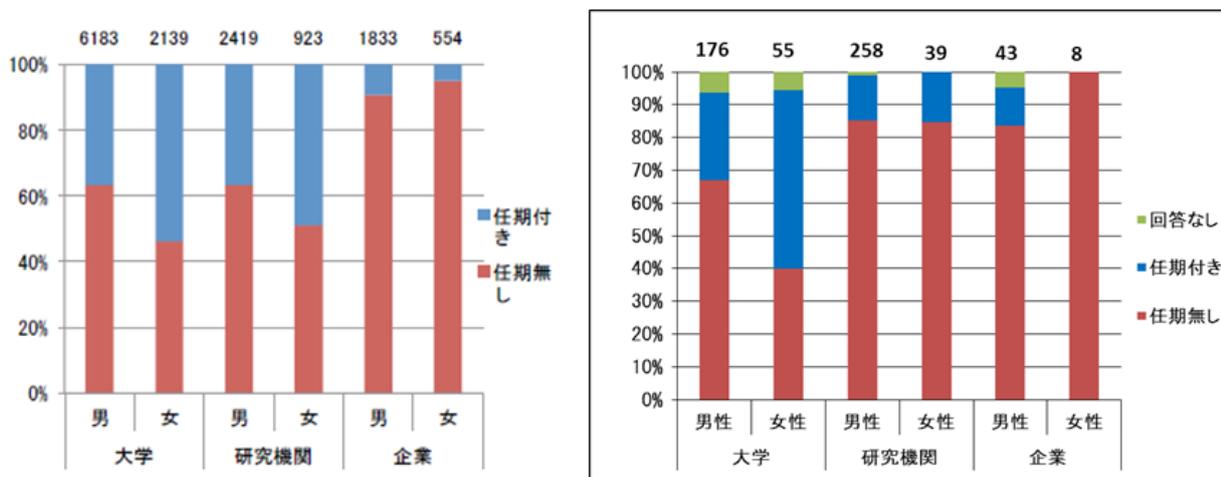


図 4.2 所属別勤務形態（左:全体／右:水産学会）

◇アンケート内にある用語については、以下の通りである。

・役職カテゴリーにおける『P I』および『N P I』は、大規模アンケートに倣い、以下の要領により分類した。

『P I』⇒ 教授、准教授、講師、理事、ユニット長、グループ長、主任

『N P I』⇒ 助教、助手、研究員、技術員、ポスドク